



西尾ロータリー Weekly

第 2938 回例会 平成 30 年 9 月 18 日(火) 天気:晴 No.09

会長/ 鳥居祥雄 幹事/ 石川哲朗

クラブ会報委員 杉浦 広 / 永江義澄 / 三浦康彦

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾信用金庫本店 1F 大会議室

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <http://www.nishio-rotary.org>

2018-19 年度テーマ



【本日のプログラム】

司 会 岡田雅彦例会運営委員長 斉 唱 「我等の生業」
 スピーカー 西尾市危機管理課 主事 杉浦康広様「西尾市の被害想定について」
 ビジター 三河安城 RC-小野 郁君・三浦 伸君
 食 事 福ふく

【会長挨拶】



「海をむしばむプラごみの山」という記事が新聞に掲載されていました。ペットボトルやレジ袋が世界中で使われていまして、使い終わったら捨てられる。世界中のプラごみが太平洋にどんどん流れてくるという事が書いてありました。

6月にカナダで開かれたG7首脳会議では、海のプラごみを減らす数値目標を盛り込んだ「海洋プラスチック憲章」というのが発表されました。今、世界のプラスチックの生産量は、2016年に3億3500万トン。15年間で1.6倍あまりになっています。増加分のほとんどが中国をはじめとする新興国や途上国の生産であるようです。ペットボトルやレジ袋が捨てられて大雨や風に流されて河川に入り、海にたどり着いたものが細かくなって、魚や貝に食べられて人間にまわってくる。いわゆる生態系が心配になってきているという事が書いてあります。

日本や北米、西欧や北欧では、多くがリサイクルされたり焼却されたりするのですが、新興国や途上国はごみ収集体制が整っていない。調査によると2010年の時点でプラごみの海洋流出が最も多いのが中国で、インドネシア、フィリピン、ベトナム、スリランカが続きます。この問題は一国の取り組みでは効果に限りがある。世界で取り組む体制づくりが欠かせないと思います。我々は我々で、ごみはきちんと区別してしっかりとやっていかなければいけないと感じました。

【委員会報告】

〈出席委員会〉金原健志 委員長

本日の出席数 52 名

8 月 29 日のメイクアップ 30 名

訂正出席率 100%

〈スマイルボックス委員会〉萩原竜治 委員長

鳥居祥雄君 ①西尾市危機管理課主事 杉浦様、本日はよろしくお願いします。②三河安城RC 小野様、三浦様ようこそ西尾ロータリーへお越し下さいました。

石川哲朗君 西尾市危機管理課 杉浦康広様、今日はよろしくお願いします。三河安城RC小野

郁君、三浦 伸君、ようこそいらっしゃいました。

安城RC小野 郁君 お世話になります。新入会員の付き添いでお邪魔しました。

安城RC三浦 伸君 三河安城RCより来ました。RC歴1年の新人です。宜しくお願い致します。

小澤育史君 連休を利用して、伊豆へ2日間釣りに行きました。今回もそうなんですが最近良くありません。スマイルの御力をお借りして出船と大漁を祈願致します。(最近のトヨタさんの車は良く走るし、燃費が良いですね)

天野 卓君 三河安城RC 小野さん、三浦さん、ようこそお越し下さいました。

山崎周彌君 ①西尾市危機管理課 杉浦様、今

日のスピーチご苦労さまです。②コンベンションホールが皆様のご協力で完成致しました。ありがとうございました。

柴田高広君 大迫力の小松航空祭に行ってきました。4度目ですので渋滞の避け方を学習できました。日本の空を守るF-15もインパルスもスゴイです。

岡田雅彦君 先日の熊味保育園敬老会のご盛会、父母の会としましては大変うれしく思っております。会場あふれんばかりの敬老会でした。

杉浦 広君 ビデオのトラブルでウィークリーの中味が希薄になってしまい申し訳ありませんでした。しばらく三浦印刷さんにお世話になります。

三浦眞澄君 杉浦さん、ようこそ西尾RCへ。西尾の危機管理宜しく願います。

榊原茂太郎君 石川幹事、色々ありがとうございました。美味しかったです。

本田正則君 西尾市危機管理課の杉浦様、西尾ロータリーによろこそ。我々市民の災害への心構えを是非、御教示いただきたいと思います。

〔卓話〕西尾市危機管理課 主事 杉浦康広様「西尾市の被害想定について」



本日は防災講話という事で、西尾市の被害想定についてお話をさせていただきます。今年、かなり大きな災害が全国各地で発生しています。愛知県でもいくつか災害が起こるかわからないという状況のなかで、どのような想定が愛知県から出されているのか、それに対してどのように備えていけばよいのかというところについてご説明させていただきます。

まずは南海トラフ地震の西尾市内被害想定ですが、最大震度7、最大津波高4.4m(佐久島5.1m)、津波到達時間53分(津波高30cm)、浸水面積5.155ha(市域の約3分の1)。西尾市ではこれに基づいて避難する計画を考えています。

津波浸水避難シミュレーションというものを作成いたしました。これは、津波浸水想定区内にお住まいの方が、津波到達時間内に避難できるかを町内会ごとに検証しています。いちばん重要なことは、津波災害はすぐに避難行動を開始することです。

津波が来る前に地震が来ますので、まずは地震対策が重要だと考えています。今日は、地震のイメージをつかんでいただくためにビデオを用意しましたのでご覧ください。東日本大震災の映像です。映像を見てわかる通り、家の中だけでなく屋外や職場などいろんな場面でいつ地震が来るのかわからないため、それを踏まえて対策をする必要があると考えています。

まず覚えていただきたいのがシェイクアウトです。姿勢を低くして頭を守り、じっとする、身を守る体勢です。ポイントは頭と首をしっかりと守る事です。揺れがおさまるまではこの体勢を続けてください。それでは皆さん、ここで実際にやってみてください。これをやる事によって命を守る確率が上がります。自分が住んでいる地区について詳しく知りたいことなどがありましたら危機管理課にご連絡いただければご説明させていただきます。ありがとうございました。



〈次回の卓話お知らせ〉 9月25日(火) 西尾信用金庫 本店 1F

会員 高井英和君 プリ・テック㈱代表取締役社長「西尾RCの会員増強について」